女子

立命大貫録の初戦突破

男子 第56回
女子 第55回
西日本学生バスケット
社主催

第3日（30日、大阪府立体育会館ほか）

男子の3回戦24試合、女子の2回戦24試合の計48試合を行い、女子は昨年の関西リーグ1部の準優勝校、立命大が福岡女学院大を89—33で退け、初戦を突破した。昨年関西リーグ4位の武庫川女大は118—25で桃山学院大に大勝。関西リーグ2部に降格した関西学院大は常葉学園短大を92—65で下した。男子は、愛知学泉大が天理大に55—63で敗れた。

関西リーグ準優勝の力発揮

【女子】▽2回戦

立命大	28	15	20	26	89
福岡女学院大	6	4	12	11	33

序盤から立命大が関西リーグ準優勝の実力を発揮した。第1クオーターで26—11とし、福岡女学院大を突き放すと勢いに乗った。後半は主力を降ろしながら相手の得点をわずか10点に抑え、3回戦に駒を進めた。

選手としてベンチ入りしながらチームの指揮を執ったF星川佳奈子（4年）は「後半は相手を1クオーター10点以下に抑えようと決めていました」と満足げ。現役学生コーチの乙津美香子（4年）が教育実習で不在のため、腰痛を患っている星川が代役を務めている。

立命大は4年前から学生主体でチームを運営。その年の4年生の中から、兼任か専任のコーチを選出してきた。強豪では珍しい体制の中でも、上級生が自ら厳しい練習に取り組むことで、下級生を引っ張っている。

今季最大の目標は関西リーグ1部での優勝とインカレでの4強入りだが、「（今大会も）乙津が教育実習から戻る準決勝までは負けられません」（星川）と秋への弾みにするつもりだ。

（広川 継）

ベンチから声を出して励ます立命館・星川選手＝大阪府立体育会館（撮影・田中太一）

逆転勝利に冷や汗

＜女子・関西学院大＞

登録メンバーが8人の常葉学園短大に、思わぬ苦戦を強いられた。第1クオーターを終わって21—20とリードを許す展開。たまらず第2クオーターに先発メンバーを全員ベンチに下げ、緊急ミーティング。気持ちを入れ替えて臨んだ後半に何とか逆転したものの、西村コーチは「最悪の内容ですね」と渋い表情だった。

【男子】▽3回戦

龍谷大	99	89	福岡大
鹿屋体大	94	92	摂南大
関学大	139	45	徳島文理大
九州国際大	113	74	富士常葉大
徳山大	118	77	大教大
金沢工大	93	73	広島大
浜松大	106	64	広島経大
天理大	63	55	愛知学泉大
同大	94	83	松山大
島根大	91	69	広島工大
大体大	88	62	金沢大
兵庫教大	100	89	名古屋商大
鹿屋体大	99	89	福岡大
関学大	139	45	徳島文理大
九州国際大	113	74	富士常葉大
徳山大	118	77	大教大
金沢工大	93	73	広島大
浜松大	106	64	広島経大
天理大	63	55	愛知学泉大
同大	94	83	松山大
島根大	91	69	広島工大
大体大	88	62	金沢大
兵庫教大	100	89	名古屋商大
広島国際学院大	92	70	福岡大
福岡教大	74	70	東和大
阪南大	116	65	九州共立大
九州東海大	120	66	関西福祉科学大
近畿大	83	57	中部大
中部学院大	77	60	流通科学大
広島修道大	90	88	大経大
愛媛大	85	78	久留米大
大阪経法大	79	71	名古屋外大
愛知学院大	85	82	神戸学院大
大阪学院大	78	63	追手門学院大
京都教大	82	59	浜松大
関学大	92	65	常葉学園短大
関西外大	96	49	神戸親和女大
大阪大谷大	67	58	第一経大
中京大	126	35	関学商業大
中京女大	75	60	名古屋女大
愛媛女短大	101	75	常磐会短大
武庫川女大	118	25	桃山学院大
福岡大	85	62	大教大
久留米工大	121	53	関大
龍谷大	75	60	岡山大
徳山大	107	57	追手門学院大
大阪国際大	81	66	倉敷芸科学大
中部学院大	87	54	ダイエー
滋賀女短大	114	40	金沢大
九州女大	82	78	園田学園女大
愛知大	96	40	広島修道大
天理大	97	49	広島文教女大
甲南大	70	56	川崎医療福祉大
長野経済短大	89	28	兵庫教大
広島大	103	50	奈良教大
新潟経営大	92	35	大谷大
倉敷芸科学大	139	84	京都学園大

【女子】▽2回戦